



スポ推よこすか

平成31年3月25日 発行

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 武 雅兄

平成30年度 神奈川県スポーツ推進委員大会

平成30年度神奈川県スポーツ推進委員大会が平成31年2月3日(日)、秦野市文化会館に於いて1071名のスポーツ推進委員の参加により盛大に開催されました。横須賀市からは43名が参加しました。



秦野市は神奈川県の中西部に位置しており丹沢の美しい自然と空気が澄んだ、人口16万7千人の都市です。特産品には、落花生・お茶、そして、秦野たばこ祭・秦野丹沢まつり等が知られています。

神奈川県スポーツ推進委員大会



開会式に先立って3つの歓迎アトラクションが披露されました。まず、秦野観光和太鼓の演奏で会場中に音の振動が伝わり迫力がありませんでした。2つ目は、神奈川県立秦野高等学校ストリートダンス部の若々しく切れの良いダンス! 様々なジャンルのダンスを踊り、地域のイベントやコンテスト等にも精力的に参加しているそうです。3つ目は、神奈川県支部民謡連盟による「東京オリンピック音頭 2020」が披露され、大会に花を添えて頂きました。



そして、神奈川県スポーツ推進委員連合会副会長・武雅兄氏の「開会のことば」で始まり、主催者を代表して連合会会長・川口勇喜夫氏より挨拶がありました。スポーツ推進委員は地域に根ざし「人生100年に向かって我々の活動は大切」だと述べられていました。表彰式では257名の方に功労者表彰・県連合会の発展にご尽力頂いた1名の方に感謝状が授与されました。受賞者を代表して秦野市スポーツ推進委員の樽義輝さんの謝辞がありました。

基調講演は講師にラグビー日本代表のキャリアを持ち早稲田大学やサントリーフーズのコーチとして指導されていた「今泉清氏」をお迎えし『聞き上手が人を動かす』を演題にお話を頂きました。



今泉氏は、自分が選手の時「やじ」が聞こえた時には「声援」に変え自分のマインドを変えてプレーしていたそうです。何故なら「相手のことを変えられないなら自分が変われば必ずと良い結果の方に向いていく」と考えたからです。また「スポーツは選手とコーチがコミュニケーションを取り共有したイメージを持ち目的に向かっていくもの。相手の言っている事を上手に聞いてあげることが、何事にも良い方向に行くのではないのでしょうか」と笑いっぱいに私たちに解かり易く講演してくれました。

最後には「夢」の話でした。子供達には夢を大いに語らせイメージを持たせ、夢は叶えるものと教え、ポジティブ思考で人生に影響を与えることが大きいと結びました。

記事 広報部 部長 鈴木幸子(汐入)

写真 広報部 副部長 新堀 邦明(富士見)

スポーツ推進委員新年懇親会

恒例の新年懇親会がホテルハーバー横須賀で1月25日（金）に43名が集まり開催されました。金森由香里総務副部長の司会進行のもと、林但副会長による開会の挨拶をもって始まりました。



まずは協議会を代表して武雅兄会長から新年の挨拶と共に新年度の方針を交えた力強い呼びかけがあり、協議会活動の更なる発展に向けた機運の高まりを感じました。

続けて上地克明市長からスポーツ関連行政への協力に対する謝辞があり、スポーツ振興を通して活気に満ちた良い時代を作りたいとのご挨拶をいただきました。

ご来賓として上地市長を始めスポーツ振興課の高橋課長、蛭田係長、才竹主任、当協議会顧問の中村様、山田様にご参会いただきました。



乾杯のご発声の中村顧問にお願いし一同乾杯のあと歓談となり、各学区代表からの一言も花を添え懇親を深めました。好評のピンゴ大会も開催され例年に違わず大変な盛り上がりを見せました。



当日誕生日を迎えられた滝瀬副会長へのサプライズプレゼントでは本人の驚きもさることながら仲間

を思いやる気持ちが会場一杯にあふれていました。

最後に石川輝雄副会長からご挨拶を頂き一同団結の気持ちを新たに閉会となりました。

記事 広報部 井上 浩文（沢山）

写真 監事 村上 清志（高坂）

平成30年度 ニュースポーツ研修会

平成31年2月10日（日）9時より、公郷小学校にて42名の参加者で、ニュースポーツ研修会を行いました。

子供から大人まで、また、パラスポーツとしても行える競技とし、昨年に引き続き①ポッチャ・新規競技の②スリーアイズ③ファートの3種目で、2ブロックに分け各3チームにて試合を行いながら、審判も体験しました。



①ポッチャについては、競技及び、審判取得を目的とした研修を行いました。②スリーアイズについては、大阪市のスポーツ推進委員で考案されたスポーツで、ルールが解かりやすく、横須賀市スポーツ推進委員協議会で用具を購入し、楽しく研修を行いました。以上2種目については、競技時間を制限し全員が体験する事ができました。また、③のファートについては空気の入った大きなキューブ型等の物を押し上げたり、ヒットして空中に漂わせます。競技の合間に空いた時間を利用して、体験しました。



限られた時間でしたが、みんなで体験し、有意義な研修会になりました。なお、スリーアイズについては、貸出可能ですので学区で体験しては如何でしょうか。

記事 研修部 副部長 細野 伸明（公郷）

写真 広報部 副部長 新堀 邦明（富士見）

平成30年度 新体力テスト測定員講習会・学校体育授業サポート講習会

2月16日(土)13時より諏訪小学校多目的室及び体育館にて二つの講習会が開催されました。

この講習会は平成25(2013)年の「学校体育授業サポート事業」を施策と示されてから7年目を数えます。この事業は、スポーツ推進委員が、市内の小学校側の要請により「体育授業の補助をする」ことを目的にしています。講習会では、実践を通じてサポートに必要な知識や技能を身に付けます。

座学では(多目的室)スポーツ振興課より課長、係長を含め、才竹主任をメイン講師として行われました。



1. 学校体育授業サポートの役割

あくまでも中心となる授業者は担任です。当然、学習評価も担任が行わなければなりません。その担任をサポートして、体育の授業がより円滑かつ効果的に進められるようにするのが学校体育授業サポーターの役割です。

2. 補助のノウハウ(あくまでも担任の補助役として)

教育現場を多目的室から体育館へ移動し、最初にA・B班の二組に分かれ「補助」の仕方について学びました。



・倒立の事例では、二人一組になり、先ず、補助する側はどの場所が安全なのか？

プレーする人と補助する側とのお互いの理解がないと「ケガ」に繋がりがやすくなるということ学びました。

・跳び箱の事例では、基本的な身体の動きの理解(リズム、タイミング等)度が必要であり、コツを教えるための一つとして、座学で学んだ「オノマトペの活用」が生かされ、補助役としての知識と経験の積み重ねがより重要になってきます。そして、プレーが上手くできた時には、大いに褒めてやることで伸び代を増大させるファクターにも繋がるということも学びました。



新体力テスト測定員の事例として今回は握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、の5種目について、使用する器具や測定の方法、そしてベストパフォーマンスを引き出すポイントについて、ご指導いただきました。 記事 日下部 重夫(武山)

写真 広報部 部長 鈴木 幸子(汐入)

副部長 新堀 邦明(富士見)

石川副会長 文部科学大臣表彰祝賀会

石川輝雄氏、文部科学大臣表彰受賞記念祝賀会が3月17日(日)、「よこすか平安閣」バルセロナの部屋で行われました。



祝賀会には横須賀市長やご親族、3市交流会の仲間である藤沢市協議会会長・大和市協議会会長や、横三ブロックの逗子市と葉山町の協議会会長、地域の方、スポ推、OB、顧問、事務局、事務局OB総勢74名の方が参列され、盛大に石川氏夫妻をお祝いすることができました。



市長の祝辞に始まり受賞者の兄である石川善輝氏によるお礼が込められたスピーチの後、岩手県の銘酒「よえもん」で鏡開きが行われ、

乾杯酒として参加者にふるまわれました。石川副会長は1997年4月に当時の体育指導委員に就任され、2011年4月には、横須賀市体育指導委員協議会の副会長に就任され、2016年4月に神奈川県スポーツ推進委員連合会の理事として現在に至っていると紹介されました。



表彰関係では2007年2月に県連合会功労者表彰、2007年5月に横須賀市体育指導委員感謝状、2013年6月に関東スポーツ推進委員協議会功労者表彰を、2017年5月に横須賀市スポーツ推進委員感謝状(20年)、2017年11月には全国スポーツ推進委

員連合功労者表彰を、そして2018年11月に全国スポーツ推進委員研究協議会(鹿児島大会)で見事に文部科学大臣表彰を受賞されたことが紹介されました。21年の長きにわたる努力が文部科学大臣表彰という形に現れたものと感慨深いものがありました。



最後に石川副会長からお礼が述べられ、今回の受賞を今後の活動の糧とするとの宣言の言葉がありました。最後まで和やかな祝宴となりました。



記事 副会長 鈴木 貞男(大楠)
写真 監事 村上 清志(高坂)
広報部 副部長 新堀 邦明(富士見)

編集後記

文部科学大臣賞に森崎学区・石川輝雄さん、30年勤続表彰に桜学区・矢込唯男さん、汐入学区・小泉幸男さん、城北学区・本田徹さんが受賞しました。おめでとうございます。

今年度も沢山の事業や講習会・研修会も無事に終わり、来年度はスポ推改選の年になります。新たな気持ちで気を引き締め頑張っていきましょう。
広報部 部長 鈴木 幸子(汐入)